

令和3年度前期の学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

863人中528人の方にご回答いただきました。

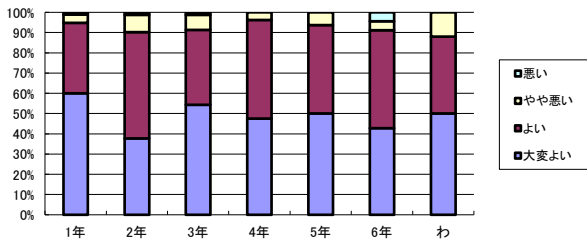
グラフは下から「大変よい■・よい■・やや悪い■・悪い■」の順になっています。



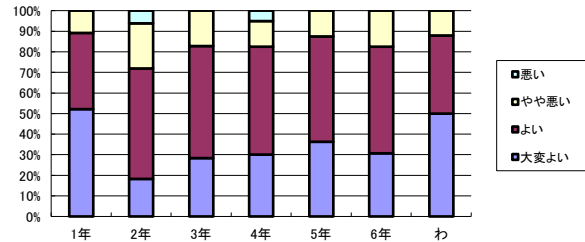
1 笑顔とやさしさでつながる児童の姿について

(1) 明るく仲間とつながる子

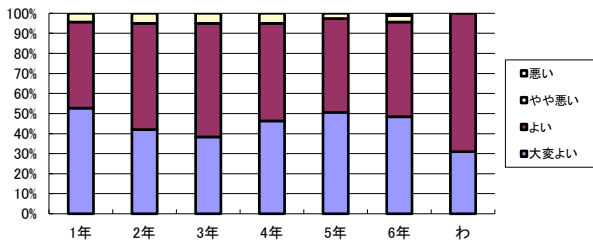
① 学校生活は楽しいと言っている



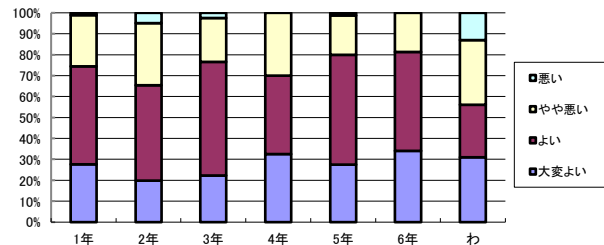
② 教師と気軽に話したり相談したりできる



③ 他者や友達に思いやりの心をもって接している



④ 進んであいさつをしている



【アンケート結果と学校の取組】

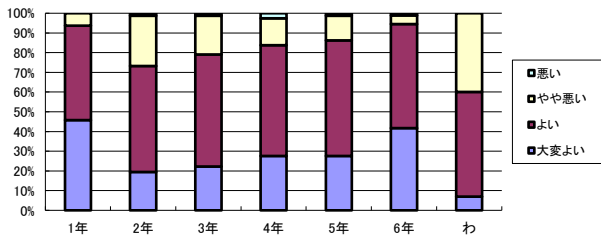
- ① 昨年度に引き続き、制約の多い中での学校生活となっていますが、90%近くの児童が楽しく学校生活を送っていることを大変うれしく思います。一方で、学校生活を楽しいと思えていない子がいることを忘れず、一人一人の学級の中での役割を大切にして自己肯定感を高められるようにする、「わかった」と言える授業づくりや感染予防を大切にしながら「楽しい」と思える行事を工夫することに努めてまいります。
- ② 気軽に話したり相談したりできることが、安心して学校生活を送ることにつながります。担任や関係のある職員による日常の関わりに加え、「心のアンケート」も活用し、定期的に一人一人と話す機会を設けています。学年をはじめ、多くの教員が関わり、声に耳を傾けていきます。
- ③ どの学年でも、他者や友達を思いやる心がよく育ってきていると評価をいただいています。学級でのよさ見つけや校内放送を使った児童による輝く姿の紹介など、日常の中で互いを認め合う活動を継続すると共に、道徳の時間を活用して、人それぞれいろいろな考えをもっていき、互いの思いを認め合える指導を継続していきます。
- ④ 常にマスクをつけて生活をしていることもあり、あいさつを交わす姿が少なくなっている現状に、子どもたちも自分たちのあいさつを見つめなおしているところです。「いつ・どこで・だれに・どんな」あいさつをするとよいか各学級で考え、目標を決めて取り組むことで、校内でもあいさつの輪が広がり始めています。きっかけを作ることで子どもたちの姿は変わります。このあいさつの輪がさらに広がっていくよう、ご家庭や地域での大人からのあいさつをぜひお願いします。

【いただいたコメントより】

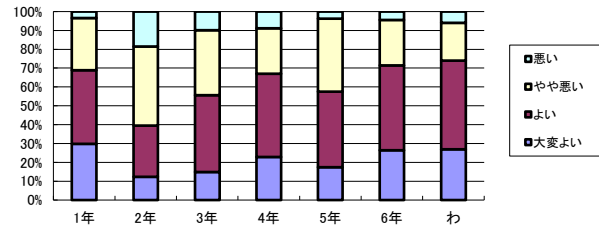
- ・ コロナの感染対策に気を配りながら、子どもたちが毎日元気に登校できることに感謝いたします。担任の先生をはじめ、いろんな先生が子どもの頑張っている姿をしっかり見て下さり、学校で褒められたことを家庭で話し、学校生活が充実しているようでうれしく思います。
- ・ 小学校最後の年となりますが、元気に楽しく過ごしている様子が本人の話すことや毎日学校へ出かける様子からとても感じられ、本当に感謝しております。
- ・ 挨拶が積極的にできていない。 ・ 旗当番の時の挨拶を積極的に子どもたちにしてほしいです。

(2) 楽しく学ぶ子

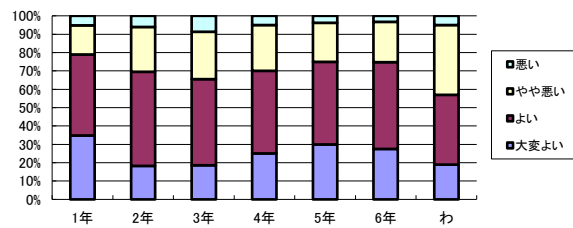
⑤ 学校の勉強がわかると言っている



⑥ 勉強がわからないときに、教師に進んで聞くことができる



⑦ 家庭学習に進んで取り組んでいる



【アンケート結果と学校の取組】

⑤ 学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が求められています。そこで、本校では、「わかった」「できた」と言えるように、基礎基本の定着と共に、対話的な学びを通して「思考力・判断力・表現力」が育つ学習を目指し、全校で取り組んでいます。そのために、まず、自分の考えをもつ時間を位置づけ、個に合わせた指導援助を考えています。また、仲間との学び合いを通して理解を深めるために、ペアやグループでの学習を取り入れながら、考えを伝え合う時間を大切にします。そして、「何が身に付いたか」を自覚して次に活かせるように、自己評価・相互評価・教師評価を行っています。

⑥ 「大変よい」「よい」の割合が低めです。「分からない」と安心して言えるような学級づくりを大切にし、教師からの働きかけや見届けを行っています。また、仲間同士での学び合い、少人数での学習、個別の学習支援などを工夫し、見直しながら取り組んでいます。

⑦ 学年の発達段階に合わせて、自分で調べたり、自分の言葉で表現したりする力につながる自主学習ができるように「チャレンジデー」を始めました。始めたばかりなので、子どもたちに戸惑いもあるようですが、どういった学習やチャレンジをしようとよいのか、具体的に紹介を続けると共に、個に合わせた働きかけを考えていきたいと思っています。そのために、教員の間でも「チャレンジデー」について話題にし、保護者の方へも発信できるように考えていきます。

タブレットを活用した学習が始まり、家庭に持ち帰っての活用が開始されました。使用にあたっては、プラス面ばかりでなく、マイナス面も出てきます。保護者の方から寄せられたご意見や市の教育委員会等から届いた情報をもとに、改善を図ったり、児童への指導を行ったりしていきます。

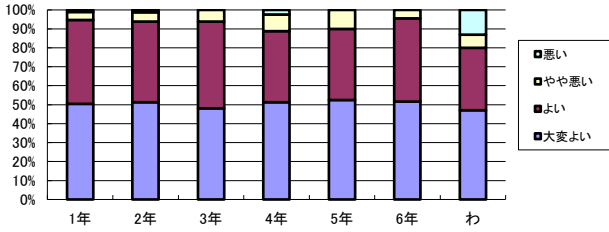
どちらも、学校と家庭が一体となって取り組むことが必要となります。子どもたちの成長につながるように、ご協力いただきますようお願いいたします。

【いただいたコメントより】

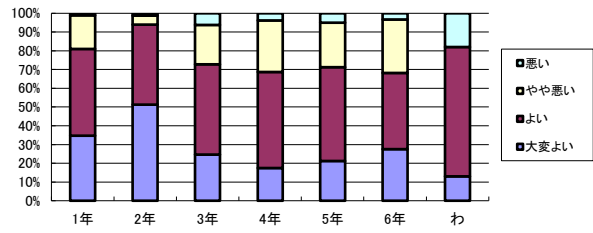
- 今年度よりチャレンジデーが実施されましたが、学校と家庭が一体となって取り組まなければ、ただの宿題のない日で終わってしまいます。チャレンジデーの名のとおり、まず子ども自身が目標を持ち、その目標に向かって取り組む姿が望ましいと考えます。
- チャレンジデーがなかなか進まないの、ある程度枠決めをしていただくとやりやすいかと思います。
- タブレットの持ち帰りが週末ですが、問題をやるには週末だけでは集中力が続かないのでクリアできません。週中も持ち帰れると良いかと思います。

(3) 元気よく過ごす子

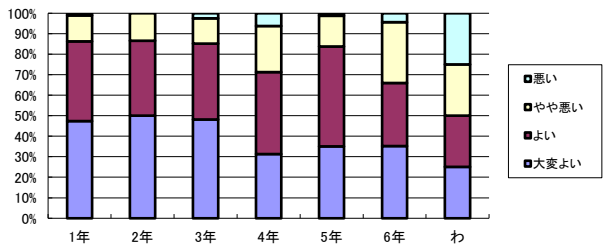
⑧健康や安全に気をつけて生活している



⑨進んで手伝いやボランティアに取り組んでいる



⑩可能な範囲で外遊びをしたり運動したりしている



※蘇一小オリジナルのSDGsに取り組んでいます。

【アンケート結果と学校の取組】

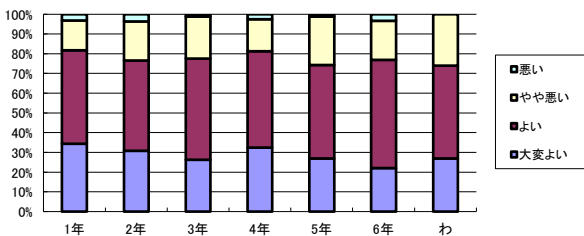
- ⑧「自分の命は自分で守る」ことを意識させ、自ら思考判断させたり、訓練を行ったりすることを大切にしています。登下校に関しては、いただいたコメントやお寄せいただいた情報を活かし、学校でも指導や見届けをくり返しなが、関係機関とも連携を図っていきます。
- ⑨多くの児童が、手伝いやボランティア活動をできるようになってきました。また、児童会を中心にした働きかけにより、SDGsを意識した活動も定着してきています。市内共通で行う手帳を活用しながらも、様々な場面でボランティアの心を育ていけるように、児童が互いのがんばりを認め合う場や教師が児童のボランティア活動を具体的に価値づける場を大切にしていきます。
- ⑩コロナウイルス感染症予防により、外遊びを控えたり、例年通りの活動ができなかったりすることが続いていることもあり、数値は、やや下がっています。体育や休み時間の外遊び等、感染症予防や夏場の熱中症予防も考慮しながら、状況に合わせて実施方法を考えていきます。

【いただいたコメントより】

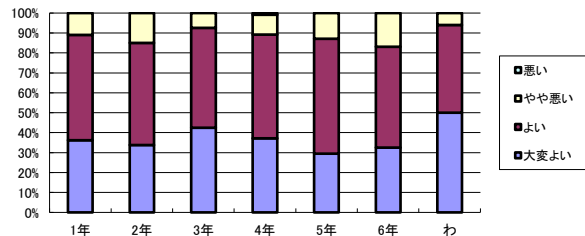
- ・児童達の安全に対する注意力や危機感が足りなすぎるので、各家庭で何度でもルールを教えてください。
- ・朝、車で送迎される方と通学班の登校時間が重なって、特に雨の日は狭い道にすれ違いの為に渋滞ができて危険な時があります。なるべく通学班登校の時間とずらしていただくとよいと思います。

2 家庭や地域とつながる学校について

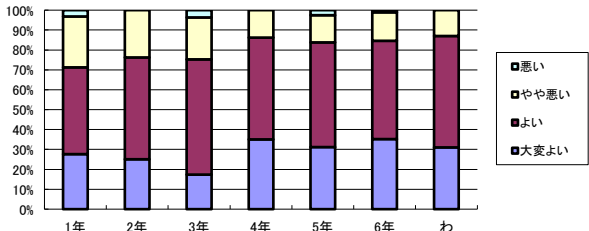
⑪スローガンの柱である「あいさつ・学習・ボランティア」について分かりやすく伝えている



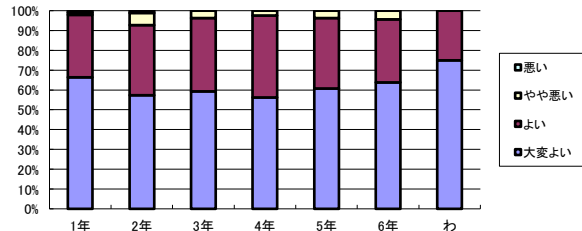
⑫学習参観・学校評価等、開かれた学校づくりを進めている



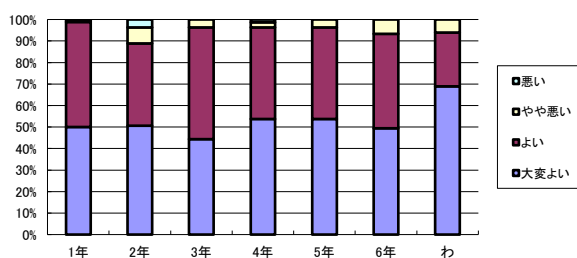
⑬通信・ホームページなどの情報提供を進めている



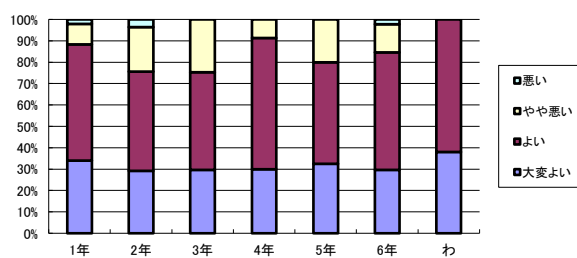
⑭職員の対応は適切である



⑮事故防止や安全確保に留意している



⑯学校に気軽に相談できる



【アンケート結果と学校の取組】

- ⑪スローガン「RS1 えがおプロジェクト」の3つの柱(あいさつ、学習、ボランティア)について、子どもたち自らが意識できるよう働きかけを充実し、「パワーアップの後期」を目指します。今後は、あいさつに続き、学習やボランティアについても、児童の委員会によるキャンペーン活動を位置付け、学校全体で意識化を図り、具体的な目標の達成に向けて取り組めます。
- ⑫コロナウィルス感染症予防のため、4月の分散型の授業参観以降、「宝物展」の参観も中止となる状況が続いていました。10～11月にかけては、学年ごとに体育発表会を参観いただいております。今後も感染状況を踏まえながら、可能な範囲・方法で参観いただけるよう考えていきます。
- ⑬「学校からの情報提供」については、保護者の皆様からの声も参考にして、通信やホームページ等を活用し、更なる情報発信に努めていきます。
- ⑭「職員の対応」については、どの学年も高い評価をいただいています。しかし、⑯「学校に気軽に相談できる」については、引き続き感染予防に努めなければならない状況も相まって、「できない」「相談しにくい」と感じている保護者の方もみえます。学校からの連絡の機会も大切にしていきます。また、担任以外の職員でも結構です。家庭と連携して子どもたちの成長につながるよう取り組んでいきたいと考えていますので、気軽にご相談ください。
- ⑮全校で95%近くの方から事故防止や安全確保に努めているという評価をいただいています。安全に関わっては、継続することが大切になります。子どもたちが安心して生活できるよう、引き続き、全校体制で留意していきます。



【いただいたコメントより】

- 運動会など工夫して開催し、親子競技などあると学校の様子家庭の様子どちらも知られそうかなと思います。
- 運動会はこのまま学年別の体育参観の方がいいと思います。様々な家庭があり、考える必要があるように思っていました。
- いただいたご意見も参考にしながら、来年度以降どのような運動会を実施していくのか校内でも検討しています。
- 個人懇談では、子どもの様子を詳しく伝えていただき、よく見てくださっていることが分かって安心しています。人間関係がスムーズにいくようフォローしていただいていることを、とてもありがたく思っています。
- 担任の先生がとても親身になって子どもや保護者の話を聞いて下さり（こちらが相談する前に先生の方から気にかけて連絡をくださる）、学校生活での心配は多々あるが先生に安心しておまかせすることが出来ています。
- 子供が心配になったり先生に聞きたいことがあったりしても、なかなか電話もしづらく聞きづらいので、もっと聞きやすい方法があると良いと思う。
- 連絡帳を活用ください。相談ある旨記載いただきましたら、電話や面談の時間を設けさせていただきます。
- 素晴らしい点いい事を褒めることも大切ですが、良くない行動、直すべき点、言い難いことも本人の為にもお伝えいただきたいです。

【今後の教育活動について】

コロナウィルス感染症予防のため、昨年度に引き続き、行事を精選し、学習内容を吟味・工夫しながら取り組んできました。後期は、感染状況を踏まえながら、見学や体験、いろいろな人との関わりを通して、自ら学ぶ場を作っていきます。また、今回のアンケート結果やご意見を踏まえ、後期の教育活動に取り組んでまいります。

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。